

連続
フォーラム

地域課題からみた学校教育の将来像

地域づくりと人づくりに関心のある方々が共に学びを深めるフォーラムです。持続可能な地域と社会のあるべき姿について学び、その実現に役立つことができる子どもたちの育成を考えるきっかけとして企画しました。

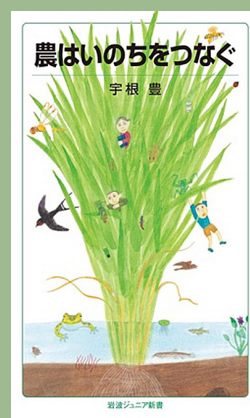
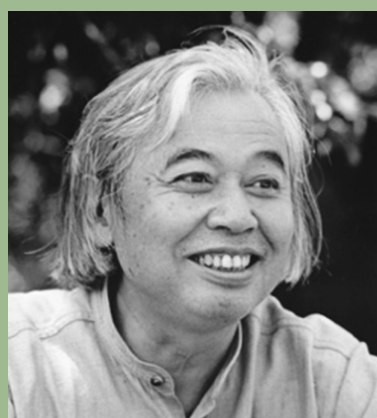
「百姓」の眼差しからみた 生物多様性の意義と課題

—食べ物 = いのちをいただく意味を考える—

講師

百姓・農学博士

うね ゆたか
宇根 豊 先生



日時 2024年 2月21日(水)

参加無料

14:00~17:00

定員 30名

※タイムスケジュールなどの詳細は裏面をご覧ください。

場所 ZOOMによるオンライン参加または録画配信



申込
方法

以下のフォームまたは電子メールから、希望する参加方法（オンライン参加または録画配信）を明記してお申し込みください。折り返しオンライン参加・録画配信の接続先をお知らせします。
<https://forms.gle/xw245Sg8k3M55kHo9>



【問合せ・申込み先】上越教育大学・教科内容先端研究センター
メール：kyoka-cen@juen.ac.jp
電話：025-521-3336

上越教育大学・教科内容先端研究センターでは、グローバル時代の知識基盤社会にふさわしい、次世代の学校教科の内容について、研究・開発を行っています。その一環として、毎年、地域課題の解決に貢献し、持続可能な地域づくりに寄与できる教科内容を考えるために、連続フォーラムを開催しています。

今回は、農と自然のあり方について実践的かつ学術的に探求し発信されてきた宇根 豊さんを講師としてお招きし、〈「百姓」の眼差しからみた生物多様性の意義と課題〉というテーマで、農の現場の視点から農業近代化のなかの生物多様性の現状、減農薬・有機農業の可能性、種とりの意義と課題など等についてオンライン会議（ZOOM）方式でご講演をいただき、その後、上越地域の具体的な地域課題に取り組んでいる学校教育関係者（学生・教員）、地域住民、公益事業者等による質疑応答・討論をおこないたいと思います。

地域での生物多様性の課題、農と自然の教育に関心をお持ちの方々のご参加を広くお待ちしております。

タイムスケジュール

TIME SCHEDULE

13:30～	オンラインでの参加受付開始
14:00～14:10	開会あいさつ・趣旨説明 上越教育大学・教科内容先端研究センター長 下里 俊行 上越教育大学・教科内容先端研究センター研究員 畔上 直樹
14:10～15:40	基調講演 宇根 豊 先生 「百姓」の眼差しからみた生物多様性の意義と課題
15:40～15:50	休憩
15:50～17:00	質疑応答・意見交換 生物多様性の意義と学校教育の課題

PROFILE

う ね ゆたか
講師 **宇根 豊** 先生

百姓・思想家・農学博士。1950年、長崎県生まれ。1973年、九州大学農学部卒業後、福岡県農業改良普及員を務め、83年に九州で初めて「減農薬米」の産直に取り組む。同年『減農薬稲作のすすめ』を自費出版し、減農薬運動を提唱し全国に定着。赤トンボが田んぼで生まれることに着目し、「ただの虫」たちが自然環境を形成しているという画期的な視点を提案し、農業と自然環境の新たな関係を発見する。1989年、糸島郡二丈町で就農し兼業農家となる。1994年、「環境稲作研究会」を結成。1997年、福岡県農業大学へ転勤。2000年『田んぼの学校・入学編』を出版。従来の農書にはない着眼点が新鮮とベストセラーになる。同年、福岡県庁を退職。NPO法人「農と自然の研究所」を設立。2004年、九州大学で農学博士号を取得。「田んぼの生き物調査」を広げ、「生きもの指標」と「田んぼの生きもの全種リスト」を完成。同法人は、第7回明日への環境賞受賞（2006年）、第1回生物多様性アワード受賞（2009年）。2010年にNPO法人「農と自然の研究所」解散。現在は任意団体として活動。その他の役職に、農水省生物多様性戦略検討会委員、福岡県景観審議会委員、生き物文化誌学会理事など。近著として『農は過去と未来をつなぐ』（岩波ジュニア新書、2010年）、『百姓学宣言』（農山漁村文化協会、2011年）、『田んぼの生きものと農業の心』（NHK出版「こころをよむ」ラジオテキスト）、『農本主義へのいざない』（創森社、2014年）、『農本主義が未来を耕す』（現代書館、2014年）、『愛国心と愛郷心』（農文協、2015年）、『農本主義のすすめ』（ちくま新書、2016年）、『日本人にとって自然とはなにか』（ちくま新書、2019年）『うねゆたかの田んぼの絵本 全5巻』（農文協、2020-21年）、『農はいのちをつなぐ』（岩波ジュニア新書、2023年）など、単著・共著多数。

問合せ先

上越教育大学・教科内容先端研究センター
メール：kyoka-cen@juen.ac.jp

